

NPO 京都コミュニティ放送 第 117 回 番組審議会 議事録

開催日時：2017 年 11 月 21 日（火）10：30～12：00

会場：イヌイ四条ビル 3 階「flag 四条」

出席委員：竹下清 岡本卓也 竹村知紘 中村正

欠席委員：山本時子 福井秀彦 ジェフ・バーグランド

局側委員：松下諒多、松岡千鶴（順不同敬称略）

ゲスト：「ゆう子・せつ子のお話パレット」

番組オーナー 小林祐子さん 松本節子さん 丸山観月さん

■審議番組 「ゆう子・せつ子のお話パレット」

（毎月第 2・4 火曜日 9時から放送 3分番組）

■番組審議

冒頭、番組オーナー小林さん、松本さんから番組趣旨の説明があった。アナウンススクールに在籍して 5 年、番組をスタートして 2 年余り。月 2 回の放送を其々が 1 回ずつ担当している。日々の暮らしから感じたことや疑問に思った事を調べて話している。

アナウンススクール代表の丸山さんは滋賀教室の松本さんと京都教室の小林さんの雰囲気似ていると感じ、2 人で番組を作ったら面白いと考え提案したとの説明があった。

次に 9 月 12 日、26 日放送分を聴いて審議に入った。

- ・「お話パレット」の意味は？
- ・パレットに色々な色を広げるように、日々の暮らしから感じた事を伝えている。（松本）
- ・どこの誰なのか名乗った方が良いのではないか。
- ・いつの間にか名乗らなくなった。次からちゃんと伝えるようにする。（小林）
- ・3 分丁度で終わる為に、どれ位時間をかけて原稿を準備しているのか。
- ・かなり時間をかけて準備している。（松本）
- ・つい、あれもこれもとってしまうが、欲張ってはいだめと言っている。
小林さんは料理が得意。料理の話はいつも参考にしている。（丸山）
- ・アナウンススクールとしてラジオ番組という発表の場を持つことは立派だと思う。
- ・掛け合いをした方がお 2 人の人柄が出るのではないか。
- ・掛け合いは結構難易度が高い。（丸山）
- ・お 2 人の話しぶりは聴き易いが、回ごとに一人でしゃべるのは違和感がある。話題を交互に提供して、それについて 2 人でトークしてはどうか。
- ・2 人でトークする方が、話が弾んでパレットの色が増えるのではないか。
- ・3 分に BGM を付けてはどうか。
- ・話の時間は AM 局では BGM は付けない。高齢者は聴きにくいという意見がある（丸山）
- ・最近「声の価値」を感じる事が良くある。朗読の学校が舞台になったドラマが放映されていた。「この声を君に」だったか。ラジオはマスメディアだがパーソナルメディア。
- ・これからもラジオを通じて「声」を届けたい。（丸山）

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は 2017 年 11 月 22 日から事務所で閲覧できるようにした。